



スクッピー始動！！

昨年 10 月に開設した子ども発達センターは、この春初めての新年度を迎え、1 ヶ月あまりが過ぎました。今年度から、センター全体は市の事業、その中で相談事業と発達支援事業は調布市の直営、通園事業を調布市社会福祉事業団が運営という新体制で事業を開始しています。

現在、子ども発達センターでは 300 人を超えるお子さんが、それぞれの状況に応じたグループや個別指導を利用しています。グループの数もとてもたくさんです。運営に携わるスタッフは、週 5 日勤務から月 1 日まで様々な形態で、嘱託医、保育士、言語聴覚士、心理士、作業療法士、理学療法士など様々な職種からなり、総勢で 80 人になります。

とてもとても大きな所帯ですが、お子さんの健やかな成長を願う思いは 1 つです。保護者の皆様や各関係機関の皆様とスタッフ全員が、しっかりとタッグを組んで、より良い支援を目指していきたくと思っています。

全員が一堂に会することは、なかなか難しいことですが、このスクッピーだよりで、センター全体の様子を少しでも皆様にお伝えできればと思っています。

市民の皆様に応募いただき選考された子ども発達センターの愛称「スクッピー」とイメージキャラクターも活動を開始しました。どうぞ、仲良くして下さいね！！



子ども発達センター長 田中 けい子



「あゆみ」の思いを受け継いで・・・

この 4 月から子ども発達センター通園事業は「児童デイサービス」として新たにスタートしました。これまで、市の独自事業として行っていましたが、国が提供する福祉サービスに変わりました。

また、昨年 10 月のセンター開設に合わせて、市からの委託を受け、通園事業を調布市社会福祉事業団が引き継ぎ、経験豊かな市の職員の皆さんと二人三脚でお子さんの療育に取り組んでいます。

このようにいくつもの変化で生じたお子さんや保護者の方の戸惑いや不安を、できる限り取り除くように配慮しているつもりですが、不慣れな点も多々あり、毎日が勉強です。

ただ、変えてはいけないことがあることも、私たちは学びました。それは子ども発達センターの前身である「あゆみ学園」を初めに一生懸命作った保護者の方たちの思いです。まだまだ学ぶことばかりの私たちですが、「子どもたちのために！」という熱い思いはしっかりと受け継ぎ、お子さんと保護者の方に「あゆみ」寄った療育を目指していきますので、どうぞよろしくをお願いします。

通園事業 園長 田崎 明子



子ども発達センター保護者の活動の紹介

あゆみ父母会（通園部門）



「あゆみ父母会」は通園されているお子さんのパパ、ママたちの会です。年3回の懇談会では、ゲームなどでクラス関係なく父母の交流を深めたり、勉強会、年末のこどもの集い、卒園式茶話会などなど。役員ママたちが毎年みんなで楽しめる内容を考えて活動しています。

子ども発達センター友の会「スクッピー友の会」



「調布市子ども発達センター」を利用されているお子さんの保護者みんなでつくっていく会として、今年度新たに発達センター協力のもとに発足しました。あゆみ父母会、発達支援部門、卒園児のママからそれぞれ1名ずつが発起人となって活動を開始します。

交流会で就園、就学などについての情報交換をしたり、子育てや療育についての悩みや疑問を話し合ったり・・・通園や発達支援部門などといった利用形態を越え、卒園生まで含めたお母さん同士のネットワークが広がっていくことを願っています。

また、個人では言い出しにくい発達センターへの意見や要望も、友の会で取りまとめて、センターに提出、回答を求めていく予定です。

記念すべき第1回交流会を7月に予定しています。後日詳細は1Fエレベータ横、保護者掲示板でお知らせいたしますので、お誘いあわせの上ぜひご参加ください。

親の会「こぐまグループ」



「こぐまグループ」は、調布に住む0～6歳（未就学児）で、発達に遅れや偏りのあるお子さん、特別な配慮が必要なお子さんをお持ちのママたちでつくるグループです。

日々の生活や療育、就園・就学に役立つ勉強会や懇談会を実施しています。

子ども発達センター利用者の方にもたくさん会員がいらっしやいます。

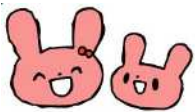
会員にならなくても参加できる勉強会や懇談会など年に5、6回あります。

親の会「みんなのサポートネット」

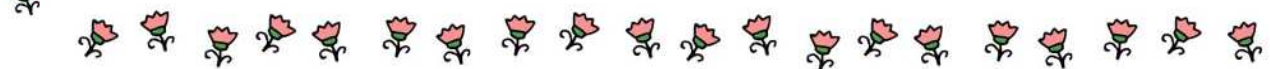


「みんなのサポートネット」は中、高校生や成人したお子さんをお持ちの先輩ママたちが、若いお母さんの「お助け隊」としていろんな情報、悩みに答えてくれる会です。専門家によるお話を聞けることも。こちら是非会員の参加可能です！

親の会主催のものは1階エレベータ横、3階保護者交流室の掲示板にて案内をしておりますので、センターへお越しの際はぜひご覧ください。各担当者の連絡先もそちらで！



親の会とは・・・「NPO法人調布心身障害児・者親の会」は昭和43年、「障害があってもこの子たちを地域で生き生きと育てたい」という思いから、16名のお母さま方により設立されました。調布市子ども発達センター（旧あゆみ学園）の前身である「あゆみ教室」をつくったのも、この親の会です。
(平成22年4月現在 会員数340余名、うちこぐま31名) 年会費2000円



おやじの会



「おやじの会」は、子ども発達センターの前身である「あゆみ学園」の時代から始まった、在園児のお父さん方を中心に、子ども発達センターの先生方や、卒園児のお父さん方も交え、定期的に行っている飲み会です。時には、「子供の話」で先生方や、先輩お父さん達から貴重なお話を伺えたり、単なる飲み会ネタで大いに盛り上がったり、「懐の深さ」と「幅の広さ」がウリのアットホームな飲み会です。(年4～5回開催)

要は単なる「飲み会」なのですが、このような会合はとても貴重な集まりだと思います。通園、発達支援といった部門を越え、このような「飲み会」繋がりが、就学後も、いろんな局面で支えになることもあろうかと思えます。

当会、これからも、幅広く皆様に参加を呼びかけていきたいと思っておりますので、まだ参加されたことのないお父さん方、子ども発達センターの先生方にも、是非お気軽にご参加いただき、「おやじの輪」を一緒に広げていきましょう！お母さん方からもぜひ旦那さまにお知らせいただければと思います。詳細は掲示板で！

保護者の活動につきましては、1階エレベータ横に掲示板がございますのでご覧ください。



保健担当より



新年度スタートから1ヶ月あまり経ち、お子さんたちもようやく新しい環境に慣れてきたようです。今年の春は、寒暖の差も大きく、体調管理が難しかったと思いますが、これから疲れが出てくる頃です。睡眠・食事・生活リズムに気をつけて無理のないようにしていきましょう。

今年の春は例年になく、手足口病が流行しています。重症になる例も出ていますので、発疹だけと軽くみないで、かかったときはしっかり静養して下さい。

予防できるものは予防していくという見地より、定期接種、任意接種の予防接種を受けられることをお勧めします。

2008年12月のヒブワクチンに続き、2010年2月より接種可能となった肺炎球菌ワクチンについてお知らせします。肺炎球菌はふだんより鼻やのどにある細菌で、体力や抵抗力が落ちたときなどに菌が増えて血液に入り感染症をひきおこします。

細菌性髄膜炎は年間推計で1000人近くが発症し、その9割が肺炎球菌とインフルエンザ菌b型(ヒブ)が原因とされています。髄膜炎の初期症状は、発熱、嘔吐、けいれんなど風邪や他の病気と症状が似ていますが、なかには命を落としたり重い後遺症が残ったりします。

他にも菌血症や肺炎など重篤な感染症をひきおこします。

重症の肺炎球菌感染症を予防する唯一の方法はワクチン接種です。

ワクチンは、生後2か月から9歳まで接種でき、回数は2~6か月は4回、7~11か月は3回、1歳は2回、2~9歳は1回です。副反応は他の予防接種と同程度で腫れや発熱などです。

1回1万円前後しますが、ヒブワクチンとともに主治医とご相談の上、接種されることをお勧めします。



細菌性髄膜炎 脳や脊髄を包む髄膜に細菌が感染して炎症が起きます。



i-ファイルをご利用下さい

調布市は障害児等への一貫した支援を推進するため、平成19年から「調布市障害児等の個別記録票の作成等に関する研究プロジェクト・チーム」を設置し、検討を重ねた結果、個別記録票“i-ファイル”を作成いたしました。

“i-ファイル”の「i」には、「individual(個別の、個人の)」や「identity(個性・主体性)」、「愛」という意味が込められています。

“i-ファイル”は、お子さんたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるよう、お子さんの様子や、これまでに受けてきた支援の内容などが書き込めるようになっていきます。

調布市では、お子さんの成長を応援する全ての人々の共通理解のもとで、一貫した支援ができるよう“i-ファイル”を配付しています。

配付方法

調布市子ども発達センター・教育相談所(教育会館6階)で配付いたします。





発達センターのクラス・グループを紹介します



| | | | |
|--------|-------------------------|---|---|
| 通園事業 | うさぎ りす こあら ぱんだ | | |
| 発達支援事業 | 幼児グループ | <p>らっこ </p> <p>いるか </p> <p>くじら </p> <p>ぺんぎん </p> <p>しろくま </p> <p></p> | 言語・心理グループ |
| | 2歳児グループ | <p>ぶどう </p> <p>りんご </p> <p>みかん </p> <p>いちご </p> <p>もも </p> | 個別指導 |
| | 1歳児グループ | <p>たんぽぽ </p> <p>つくし </p> | 作業活動レインボー |
| | | <p>ひよこ (3歳児) </p> <p>ひつじ </p> <p>うさぎ </p> <p>くま (4歳児) </p> <p>ねこ </p> <p>きりん (5歳児) </p> <p>らいおん </p> <p>ぞう </p> | |
| | | | <p>作業療法 </p> <p>運動療法 </p> <p>言語療法 </p> <p>心理療法 </p> |
| | | | <p>きいろ </p> <p>おれんじ </p> <p>あか </p> <p>むらさき </p> <p>あお </p> <p>みどり </p> |